

3

基本計画の見方

• 基本構想に掲げた「将来都市像」や「まちづくりの基本目標」の実現に向けて、目標（あるべき姿）をワンフレーズで表しています。

• 目標に掲げたまちの姿を具体的に描いたもので、4年後（2021）の高浜市が「こんなふうだったらいいなあ」、「こんなふうにしていきたい」という想いを表しています。

• 世の中の動きや高浜市の現状・課題を踏まえ、目標達成に向けての考え方や道筋を表しています。

▶ 基本目標Ⅰ みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう

目標（1）

まちへの想いを育み、いつまでも住み続けたいと思えるまちをつくります

この目標が目指す4年後のまちの姿

- ◎ まちの課題や目標が市民と行政で共有され、市民が市政を身近に感じ、市政に対する関心・理解、満足感が高まっています。
- ◎ 市民のまちへの愛着が高まり、まちのことを「自分ごと」として考え、まちを大切にし、自分にできる“まちづくり”を行っています。
- ◎ 職員一人ひとりが地域課題について考え、市民や地域の想いに寄り添いながら、課題の解決に取り組んでいます。

目標達成に向けての考え方

「いつまでも住み続けたい！」と思える高浜市を未来へとつないでいくために、まちの目指す姿を共有し、市民・地域・行政がそれぞれの力を高め、みんなで連携・協力できる「つながるまちづくり」を進めていきます。

- ◆ 高浜市に暮らす満足感を高めるためには、まちの課題や目標が市民と行政で共有されるよう積極的なコミュニケーションが重要です。
- ◆ まちへの愛着を高め、自分にできる“まちづくり”に一人ひとりが関わっていくためには、それぞれが活躍できる・必要とされるステージをみんなで協力しながらつくり上げることが大切です。
- ◆ 職員は自分に合った地域との関わり方を持つとともに、市民や地域から能力や人柄が認められ、必要とされる人材になることが大切です。

MEMO

「この目標が目指す4年後のまちの姿」と
「みんなで目指すまちづくり指標」は、
行政の行動指針・取組みの達成状況を示しています。

こんなことに取り組みます！

- ☆ 市民と行政がお互いの考えを理解できるよう、積極的な情報発信を行うとともに、対話の場をつくります。
- ☆ 市民・地域・行政が得意分野を活かし、それぞれのステージで自分たちのできる“まちづくり”に取り組んでいくための環境づくりを進めます。
- ☆ 職員のワークライフバランスを考えた「働き方」改革と、職員が地域に関わる“きっかけづくり”から“課題発見・解決”まで段階に応じた成長支援を行います。

・課題を解決し、目標を達成するための取組みの方向性を示しています。

・「目標」「この目標が目指す4年後のまちの姿」の達成度合いを示す目安として「みんなで目指すまちづくり指標」を掲げます。

・現状値は、各々の指標に関する直近のデータを示しています。

みんなで目指すまちづくり指標

目標の達成度を計る指標	現状値 (2017)	目標値 (2021)	指標の 目指す方向
1) 市の情報発信に満足している人の割合	47%	65%	↗
2) 地域活動に参加したことがある人の割合	63%	70%	↗
3) 市民と一緒に地域活動に取り組んでいる職員の割合	54%	66%	↗

↗ 指標の値が増加することが望ましいことを示しています。

→ 指標の値を維持することに努めることを示しています。

↘ 指標の値が減少することが望ましいことを示しています。



取組みに関連する写真や、統計データのグラフなどを掲載しています。